

信頼される市役所 を目指して

下水道談合事件や福祉分野での相次ぐ事件など、昨年は市役所のさまざまな問題が顕在化しました。市役所は現在、これらの問題を契機に改革に着手しています。今回は談合事件と福祉分野におけるこれまでの取り組みをお伝えします。

問い合わせ先

下水道談合については、総務局総務課☎211-2164
福祉関係については保健福祉局総務課☎211-2932
児童虐待に関する緊急対策については教育委員会総務課☎211-3825

市民の皆さんからたくさんのご意見が寄せられています

市民
の声

〈下水道談合事件〉

入札で安く発注できるものを談合で高く落札し、税金が不正に使われていたなんて許し難いことです。

かかわった職員の処分や内部改革を進めるだけでなく、談合の温床となる職員の天下りもなくすべきです。

市長
から

談合、とりわけ官製談合などというのは、決してあってはならないものです。市が官製談合の指摘を受けたことについて、市民の皆さんには大変申し訳なく、おわびを申し上げます。

現在、第三者委員会を設置し、徹底した調査を進めています。談合は適正な競争を阻害し、結果的に市民に損害を与える行為です。わたしは、談合を「根絶やし」にしなければならないとの決意を新たにしています。談合が起きた原因を究明し、退職者に対する市への営業行為の規制強化も含めて、実効性のある根絶策をまとめていきます。

市民
の声

〈福祉行政の在り方〉

女性が8年間も母親に軟禁された事件が発生する一方で、障害者手帳の偽装や生活保護の不正受給などを野放しにしていたことが分かりました。

市の弱者を守るシステムは機能していません。数々の事件を真摯に受け止め、二度とこのようなことがないようにしてほしいです。

市長
から

市民の安心・安全を守ることが、わたしたちの使命です。その思いを職員がしっかりと共有し、組織として支える体制があれば、今回の軟禁事件では、子供の不登校理由を解明するなど、もう一步踏み込んだ対応ができたはずです。一方の不正受給問題では、福祉サービスの悪用を発見した場合に、迅速に対応できる体制が整っていないことを痛感しました。

今後は、関係機関や職場内での情報共有を徹底するほか、困難事例を抱えた職員の相談・支援体制を強化し、迅速な対応を目指します。

昨年12月には、女性軟禁事件を真摯に検証し、児童虐待に関する緊急対策をまとめました。できるものから速やかに実施していきます。

市民
の声

〈市長のリーダーシップ〉

談合事件や女性軟禁事件など、最近の諸問題は、札幌市民としてとても恥ずかしい。

市長には、市民におわびするだけでなく、しっかりとした市政のかじ取りをお願いしたいです。

市長
から

昨年、市民の皆さんに不信感や不安を与えた談合や福祉の問題については、具体的な対策を確実に実行することで、信頼回復に努めていきたいと考えています。

今こそわたし自身のリーダーシップが問われるときです。リーダーシップを効果的に発揮できる組織体制の強化を図り、市役所のトップとして市役所改革を強力に進めていきます。さらに、職員には、「市民のためになるか」を第一の判断基準として仕事をしよう指導を徹底していきます。いま一度、「市民のための市役所」という原点に戻り、全職員が一丸となって市政の課題に取り組んでいきます。